

令和八年熊本地震に際して

— 子どもたちとこの国の未来を支える皆様へ —

このたびの令和八年熊本地震により、かけがえのない尊い命を失われた方々に対し、謹んで深甚なる哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆様ならびにご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今なお不安と困難の続く状況にあって、力の限りを尽くしておられる保護者、学校関係者、地域の皆様、そして現地で救助や復旧支援に尽くされているすべての皆様に、深い敬意と感謝を捧げますとともに、心からの連帯の意を表します。

このたび、熊本大学教育学部附属学校ご関係者様より、地震発生後の状況についてご報告を賜りました。大きな不安と困難の中にありながら、家庭と学校、地域が手を携え、互いに支え合いながら、子どもたちの学びと日々の安寧を守り続けようとする姿に、深い敬意と感銘を抱いております。

家庭・学校・地域が心を寄せ合い、ひとつとなって子どもたちを育てていく営みは、いかなる環境にあっても変わることのない教育の根幹であります。人と人との絆を大切に、子どもたちの日常と未来を守り続けておられる被災地の皆様の歩みは、全国の保護者が心に刻む尊い証であります。

一般社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会は、今後も全国の国立大学附属学校に集う保護者や学校関係者の皆様と心を重ね合わせながら、子どもたちの健やかな成長を支え、被災地の皆様に寄り添い、ともに歩み続けてまいります。

教育とは、未来を託された子どもたちへの、世代を超えて受け継ぐべき責任であります。その責任を心に刻み、被災されたすべての皆様のもとに一日も早く平穏な日常が戻りますこと、そして子どもたちが周囲の優しい眼差しに包まれながら、未来へ向かって歩みを重ねていきますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和八年七月三十日

一般社団法人 全国国立大学附属学校PTA連合会
会長 羌 勲應